

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回3月の「てがたん」は3月14日(土)で「学名・和名・英名で楽しむ生き物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは**3月7日(土)**です。よろしくお願いいたします。

2月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→藤棚→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2015年2月14日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 16人 (一般14人、子ども2人)
- 市民スタッフ 11人 (石原直子、伊東茂子、岡廣志、蒲田知子、木村稔、染谷迪夫、竹本周平、弘實さと子、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2人 (塩田いづみ、村松和行)

観察記録 - 2月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

カモ科：オナガガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/
クイナ科：オオバン/シギ科：タシギ/タカ科：トビ/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/
ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ムクドリ科：ムクドリ/ヒタキ科：ツグミ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/
アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：アオジ、オオジュリン/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【昆虫・クモ】

カマキリの仲間：チョウセンカマキリ(卵のう)、オオカマキリ(卵のう)/甲虫の仲間：ナナホシテントウ/
チョウ・ガの仲間：イラガ(まゆ)/ハエ・アブの仲間：種不明/カメムシの仲間：カイガラムシ種不明

【花】

キク科：セイヨウタンポポ、ノボロギク/オオバコ科：オオイヌノフグリ/ナデシコ科：ハコベ、オランダミミナグサ/
アブラナ科：ナズナ、タネツケバナ/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/イネ科：スズメノカタビラ/ツバキ科：カンツバキ

2月の観察アルバム



今回のテーマは「光の春を探そう」でした。風が強く、寒さが厳しい日でしたが、日だまりは温度が高く、オオイヌノフグリやホトケノザなど春の花が咲いていました。

水がたまった田んぼではコガモやタシギが餌を探していました。



今月の案内人 染谷迪夫さん 蒲田知子さん



① 鳥博駐車場近くの畦で咲いていたオオイヌノフグリ



② 土手の日だまりでみつけたナナホシテントウ



③ 唇のような形から唇形花（しんけいか）と呼ばれる



④ ホトケノザの花



⑤ 氷が張っていた日陰の水たまり



ハルジオンのロゼット

ノグシ、ヒメムカシヨモギ、アレチギシギシなど他にも様々なロゼットがみられた。



2月てがたんの観察生物とルート



手賀沼遊歩道のウメ

もうすぐ咲きそうなほど冬芽が膨らんでいた。



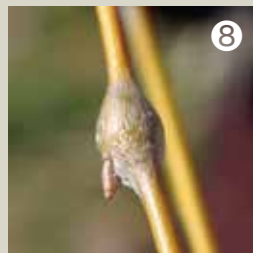
⑪ 今月の鳥のお話は「鳥と光の関係」



⑩ 小さい株ながら花が咲いていたタネツケバナ



⑨ 膨らみ始めたシダレヤナギの冬芽



⑧ シダレヤナギの枝についた虫こぶ



⑦ トウカナメモチの冬芽で見つけたハエの仲間

ロゼットの葉はいつできる？

ロゼットは植物の冬越しの姿のひとつです。寒さをしのぐために地面に張りつくような形をしています。ロゼットの葉のように、まるで根から出ているように見える葉を根出葉（こんしゅつよう）といいます。そのうちの冬も枯れずに残っているものをロゼット葉といい、ロゼットはロゼット葉の集まりのことです。

一般にロゼットは夏以降に開いた葉でつくられます。ロゼットの表面の葉をめくってみると、下には春から夏にかけて生じた枯れた古い葉が残っています。

ロゼットはクク科やアブラナ科の植物によく見られます。見つけたら葉をめくって確かめてみましょう。



メツヨイグサのロゼット



ロゼットの下部にある枯れた古い葉